



川崎大師ロータリークラブ週報



例会日：毎週水曜日 12:30～
例会場：大本山川崎大師平間寺 信徒会館
<http://www.kawasakidaishi-rc.com/>
daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第52期

会長 竹中 裕彦

副会長 石渡 勝朗

幹事 猪狩 佳亮

SAA 町田 喜江

第2410回（本年度第8回） 例会 2024年9月4日 一快晴一

- 司会 町田 喜江 SAA
- 点鐘 石渡 勝朗 副会長



- 斉唱 <奉仕の理想>
♪原慎一郎 ソングリーダー



- 来訪ロータリアンの紹介 布川 浩 親睦活動委員長
国内外ともにいらっしやいません。

- 入会祝い 布川 浩 親睦活動委員長
矢野 清久 会員 2003.09.24

- 奥様の誕生祝い 布川 浩 親睦活動委員長
安藤会員 奥様 和子様
出井会員 奥様 さち恵様
猪狩会員 奥様 千佳様
町田会員 お母様 中村紀美子様
鬼頭会員 奥様 正美様

- 会員の誕生祝い 布川 浩 親睦活動委員長
宮山 光男 会員
炭谷 博功 会員
秦 琢二 会員
小林 勇次 会員
宮崎 眞一 会員



おめでとうございます！

●会長報告 石渡 勝朗 副会長

①牛山会員へポールハリスソサエティから感謝状が届いておりますのでご披露します。



②次週9月11日は長戸ガバナー公式訪問
絶対に出席してください!!!

●幹事報告 猪狩 佳亮 幹事

①ポスティングのご案内

- ・ロータリーの友9月号
- ・ガバナー月信 vol.3(9月号)

第1グループ紹介に竹中会長、新会員のご紹介に鬼頭会員が掲載されています。

②回覧

- ・他クラブの例会変更のご案内

③米山学友会総会のご案内

9月28日(土) 11時～ @總持寺 三松閣
出席希望の方は9月12日までに事務局へ。

④例会終了後、13:45より第3回定例理事会を開催

●出席報告 町田 喜江 直前出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2410回	42	36	19	17	52.78%
2408回	42	37	25	12	67.56%
前々回の修正メイクアップ 1名・修正出席率					70.27%

メイクアップ 林会員

●スマイルリポート 石渡 勝朗 副会長

猪狩 佳亮 幹事

- 1 原さんの卓話、枝村委員長の友精読、楽しみにしております。渾身の15分を宜しくお願いします。
- 2 竹中会長、来週の復活を心待ちにしております。

石渡 勝朗 副会長

台風接近の中8月31日、大曲の花火大会に参加でき、花火の競艶に堪能しました。

~~~ 本日のニコニコテーマ ~~~

『原支店長、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。』

枝村委員長、今月も渾身の精読をよろしくお願い致します。』

- 野沢 降幸 鈴木 昇二 牛山 裕子 炭谷 博功  
内田 省治 布川 浩 星野 祐治 奥山 啓寛  
町田 喜江 原 慎一郎 枝村 和道 各会員

●委員会報告

なし

~~~ ロータリーの友精読 ~~~

◎枝村 和道 雑誌広報委員長



P57「クラブ一番の元気印」

P54「忍者の処世術」

P13「まずは通えなくっちゃ

ベトナムで通学用自転車寄贈」

〜〜 イニシエーションスピーチ 〜

◎原 慎一郎 会員（職業分類：信用金庫）

川崎信用金庫大師支店長の原と申します。

昨今のタイムリーな話題といえば、「月末の日銀利上げ」なので、独断と偏見でお話しが出来る、「何故、いま利上げしたのか」をテーマとします。

これから話すのは、飽くまでも私の個人的意見なので、「川崎信用金庫」としての公式見解ではありません。経済学者でもありませんので、予想が外れても苦情は一切受け付けません。

さて、「利上げ」に関する話しをするには、「日本銀行と国の借金の関係」について触れない訳にはいかないと考えています。

日本の借金は約1,300兆円です。内、国債の残高は約1,000兆円です。その内、日本銀行は凡そ50%である500兆円の国債を保有しています。

次に国家予算は幾らかと言いますと114兆円です。その内の2割強を占める25兆円が国債の返済と利息に充てられています。因みに年間の国債新規発行額は、コロナの要因を除くと40兆円前後で推移しています。15兆円の発行超過ということになります。

ここからは、分かり易いように、金額を現実的な単位とした上で、馴染みのある名称に置き換えてお話しをします。

「株式会社大師ロータリー」という会社の借金は1000万円、利払いを除く年間返済額は20万円、もし年間返済額が原資が利益であれば、金融機関目線言えば、株式会社ロータリーは1000万円÷20万円=50年間が完済可能年数になります。

借金を返済するのに50年必要な会社って、個人的な感覚だと、流石にちょっと長い、大丈夫かなと思います。しかも実態としては、年間返済額20万円とは言うものの、新たに毎年40万円を借入で調達している訳です。つまり借入金は、年間20万円増加します。

これを打開するには、利益を計上するか、経費を減らすしか無い訳ですが、(株)大師ロータリーは業況が厳しい一方、従業員(会員)確保の為に高額の給与を支払っ

ている(豪華な昼食を出している)ので、銀行頼りとなっています。

メイン銀行である川崎信用金庫は、(株)大師ロータリーの借金1000万円の内、500万円の債権者です。

借入ですから、本来返済しなければならない訳ですが、「かわしん」は、(株)大師ロータリーに返済しなくても良いと言っています。しかも返済期日が到来すると、本来金融機関では禁じ手である利息も含めて借換えを行っています。

500万円は返さなくてよい状態、つまり資本金みたいなものなので、(株)大師ロータリーにとってこれ程都合が良いことはありません。こうなると、もはやメイン銀行では無く、出資する株主と言っても過言ではありません。

ここまでを整理すると、(株)大師ロータリーは「かわしん」という大株主が安定している限りにおいて、破綻しないということになります。資金不足が生じた場合、大株主である「かわしん」に出資して貰えば良い訳です。そして、利貸しも含めた借り換え迄行っている訳ですから、金利は低い方が良いということになります。(株)大師ロータリーにとっては債務の増加が少なく、済む訳ですから。

さて出資する側である「かわしん」にとって、その原資は何でしょうか。それは預金です。預金が集まる限りに於いて、出資し続けることが可能となります。預金は(株)大師ロータリーの従業員の給与に依存しています。正にお金が回っているとはこのことになります。

かわしん → 「出資」(株)大師ロータリー
→ 「給与」従業員 → 「預金」かわしん

この流れから、(株)大師ロータリーの債権者は、実は働く従業員だということが分かります。「社内預金」みたいなものです。

これを現実に戻すと、日本銀行が国に貸したお金は、→国民に何らかの形で配布される→配布されたお金は、全てではないにしろ、民間の金融機関に預けられる→民間の金融機関は預かったお金を日銀に預金すると

いう循環になります。

他に国債の大口保有者として、民間銀行や生命保険会社がありますが、この原資も元を辿れば国民のお金ということになります。

それでは、国民が国に対して「社内預金」を引き出すのは、どのタイミングでしょうか。国外に脱出する(円を他国の通貨に換える)、つまり国を信用出来ないなどでしょうか。

逆に言えば、普通の状況、つまり安定した経済・雇用状況が維持されていれば、何の問題も起きないことになります。返さなくて良い状況が続くわけです。「給与を上げよ！」等、やたらと国が言っているのは、国債を発行しやすい環境(引き取り手がいる環境)が続くことを願っているからです。

とは言え、日銀がお金(円)を供給しまくれば、円の価値が下がります。つまり円安です。そうすると究極のところ、日本のお金(円)を持っていても意味が無いので、預金しなくなります。預金が無くなると、日銀は国債を買い取るお金が無いので、金利を上げて預金を集めようとしています。

よって、7月末に利上げを行った理由は、円の価値が下がりすぎたので、今後も国債を発行し続けるには、金利を上げざるを得ない状況になったということだと思います。

「円安対策」や「物価対策」というと格好が良いですが、とにかく国債を買ってくれる相手をキープし続ける必要があるから、日銀は国の財政の為に利上げしたと私は思っています。

利上げは国の利払いも増えますが、景気が良ければ税収も増えるので、なんやかんや景気対策や賃金引き上げの圧力を掛け、負担増にならないようにしているのだと思います。

実際、国債の金利が上昇したことで、私どもに預金を頂いているお客様も個人向け国債を購入する方が非常に増えています。

以上、本日の「何故、利上げをしたのか」の結論としては、今後も国の財政維持を目的として国債発行が滞りなく行われる為に、金融緩和を終了せざるを得なかったと

邪推しています。

以上、勝手な推論ですみません。冒頭に述べました通り、飽くまで個人的な意見なので、聞き流してください。ご清聴ありがとうございました。



●閉会宣言並びに点鐘

石渡 勝朗 副会長

2024年9月18日(水)は月間卓話です。

亀ヶ谷純子 Rの友委員長

クラブ会報委員会 奥山啓寛 檜山雄彦 清水暁

